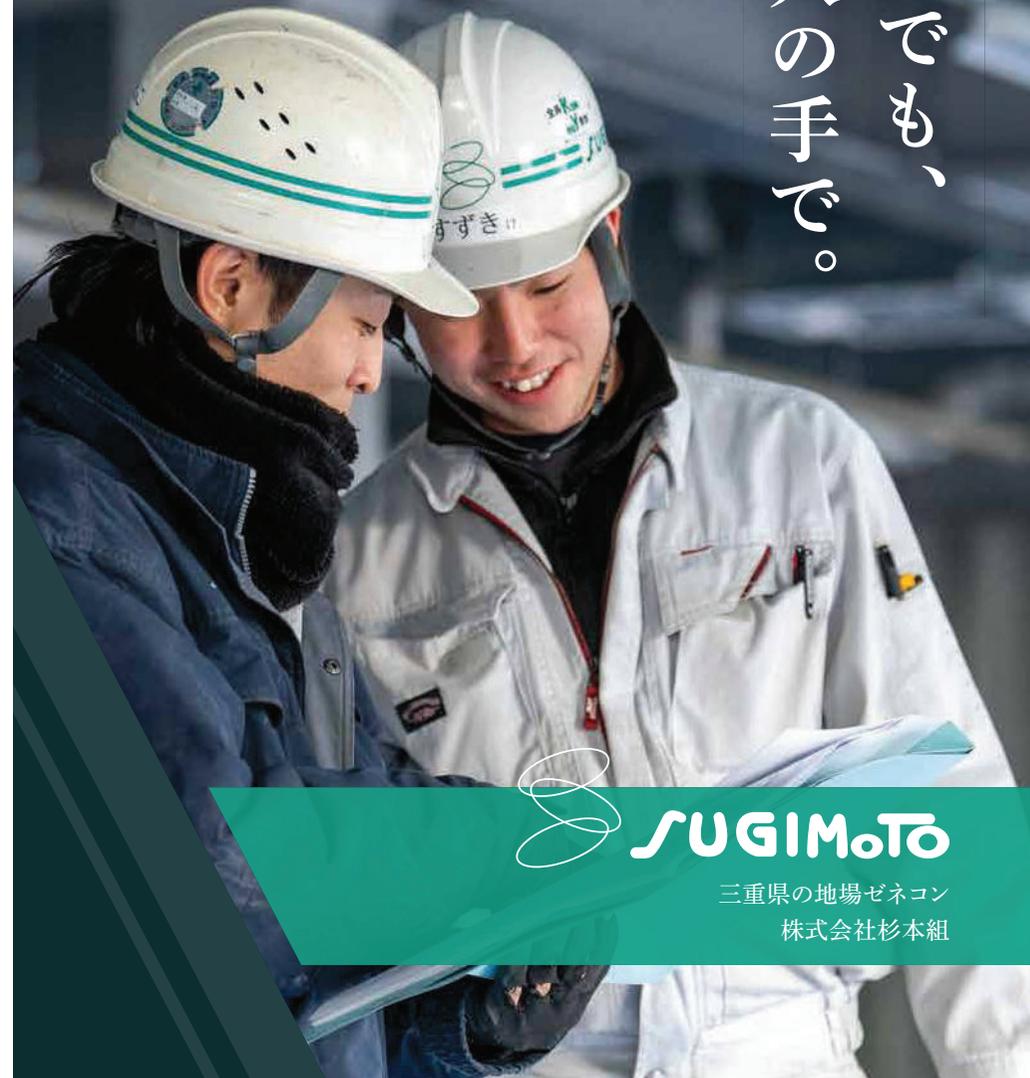


AI時代でも、 最後は人の手で。

時代が変わっても
廃れず
どんな会社においても
通用する
“人を活かす”
スキルをその手に。



三重県の地場ゼネコン
株式会社杉本組

杉本組採用窓口

些細な相談から面談希望までお気軽にお電話ください

☎059-345-3030

《受付時間》8:00～17:00 / 土日休み / 採用担当: 橋本

杉本組採用サイト

杉本組がどんな会社か分かる採用サイト

sugimotogumi-recruit.com



株式会社杉本組

本社

〒510-0842 三重県四日市市石原町1番地
TEL 059-345-3030 / FAX 059-346-4435

鈴鹿支店

〒510-0221 三重県鈴鹿市北若松町379
TEL 059-389-6020 / FAX 059-389-6021

建設業許可 三重県知事許可第929号

土木工事業 / 建築工事業 / 大工工事業 / 左官工事業 / とび土木工事業 / 石工事 / 屋根工事業 / タイルレンガブロック工事業 /
鋼構造物工事業 / 鉄筋工事業 / 舗装工事業 / レンコンクリート工事業 / 掘削工事業 / ガラス工事業 / 塗装工事業 / 防水工事業 /
内装仕上工事業 / 熱絶縁工事業 / 建具工事業 / 水道施設工事業 / 解体工事業

産業廃棄物収集運搬業 三重県知事許可第02402024040号

特別管理産業廃棄物収集運搬業 三重県知事許可第02452024040号

杉本組一級建築士事務所 三重県知事登録第1-2382号

AI時代でも、最後は人の手で。
40年後も戦える
技術を身につける。



AI時代に再評価される現場仕事 都市の基盤を造る現場のアーティスト

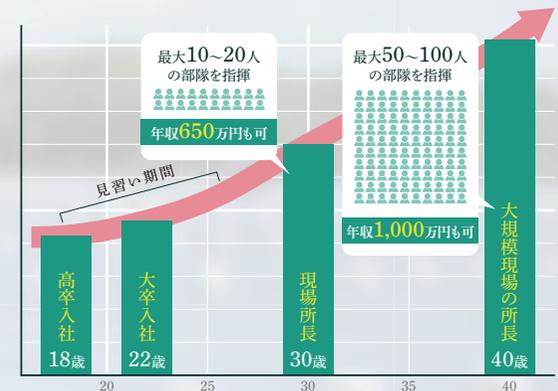
AIやITが進化し、アメリカを中心にホワイトカラーの仕事が機械に置き換えられていく一方で、人間にしかできない現場の仕事が再評価されています。AIや機械を利用しつつも、それだけで建物や道路を造ることはできないのです。

設計図通りには行かない現場での微妙な調整、職人同士の声掛けやチームプレイ、突然の天候変化、近隣住民の要望やクレーム、発注した資材が入らないことなどを見越した工程管理、現場の安全管理など、人間力と職人の勤が必要とされる場面の連続となります。

主に弊社の建設現場監督の仕事は、都市や社会基盤を造る現場のアーティストとして、価値のある誇れる仕事だと自負しています。

30歳で一人前の現場監督に 100人を指揮するリーダーを目指せ

杉本組には熟練の技術と職人たちを束ねる人間力を持つ先輩たちがあります。新しく入社して来る新入社員にゼロから現場のいろはを教えます。早ければ入社10年で最大10~20人の職人を指揮する現場監督となり、一人前になると最大50~100人部隊を指揮する監督になることができます。



「杉本組出身」と言えばそれで通用する 確かなスキルをその手に。

80年の歴史で培った信頼と、それを支える施工管理技術士があり、人材育成においては自信があります。「杉本組出身なら間違いない」と言われるくらい個々のスキルが高く、応用の効く器用さや人を動かすことのできる人間力が身につきます。

人が集まり、知恵が集まって、技術力につながります。杉本組の一員となって成長し、あなた自身が輝ける存在になってください。

杉本組ってどういう会社?

About us

国土交通省から地元企業まで幅広い取引先

創業80年の三重県四日市の総合建設業

80年の歴史が
証明する安定経営。

地場ゼネコンとは?

元請け ゼネコン	スーパーゼネコン 大手ゼネコン 地場ゼネコン	5社 約50社 約2万社
-------------	------------------------------	--------------------

弊社は地場ゼネコン(三重県に特化した総合建設業)です。ゼネコンとは下請けではなく、大規模な建築工事や土木工事を元請けとして最初から最後まで携わる仕事です。元請けであるからこそ、自分の采配で現場を動かせ、建ったものに対して自分の作品と言える楽しみがあります。



賞与は平均8.5ヶ月* 利益は社員に還元
地元企業なので転勤は無し

*令和7年度実績

社員が満足してくれるように、会社の利益は積極的に給与と賞与に還元し、スピーディーな給与UPで待遇改善に力を入れています。また、地元企業なので、いつも顔なじみの仲間・協力会社と仕事ができ、家族と一緒に暮らしながら、家族に作品を見てもらえます。



代表取締役
杉本 智哉

WORKS 施工実績

自動車販売店大規模改修工事
大規模改修 - 2018年8月



2016年度 中央緑地サッカー場整備工事
共同企業体構成員として実施 - 2018年4月



東京商工リサーチ企業信用調査

全国上位2%認定の優良企業認定



売上を伸ばし続けつつ、安心の無借金経営

企業の信用調査機関大手の東京商工リサーチにおいて「約150万社中、上位8%以内の優良企業」認定をいただいているだけでなく、その中でも上位2%の評価をいただいています。

また、経済産業省と日本健康会議が進める健康経営優良法人認定の他、県内・市内において公共工事ランクA評価をいただいています。

県内企業最高ランク



自動車販売店新築工事
在来工法(鉄骨) - 2021年2月



新社屋・工場建設工事
在来工法(鉄骨) - 2022年8月



2017年度 一般国道477号四日市湯の山道路
道路改良(本線舗装)工事その2
ICT土工導入/共同企業体構成員として実施 - 2018年10月

MERITS of LOCAL COMPANY

地場中堅企業の良さ

若くしてリーダーになれる

全員が中心人物であり、歯車にならずに仕事ができる会社です。早ければ30代で現場を任せられることができます。

担当者制

顧客ごとの担当者制のため、「杉本組の〇〇さん」と日頃から頼ってもらえる存在になれるため、社会的な価値を感じることができます。

地元への貢献ができる

現場が転々とする大手と違い、故郷にたくさんの作品を残せます。また、大雪や地震などの災害出動で地域に貢献することができます。

色々なものが近い

転勤はなく、出張も殆どないため、毎日を家族と過ごせます。全社員や協力会社が顔なじみとなり、役員とも顔が近い会社です。

人財に対する考え方

Recruit

従わせるのではなく、慕いたくなる会社。

“社員のためにある会社”としての様々な取り組み



EMPLOYEES FIRST 社員ファースト

杉本組では頑張った社員が絶対に得をし、役員も含めてチーム一丸となって目標を達成する会社です。役員も一緒に動き、限られた期間の中で現場でいいものを作ることに専念できる体制を構築しています。



プロセス重視評価

「やった損」「頑張った損」のないよう
結果よりもプロセスを重視した評価

トップダウンでない社風

役員が圧倒的強者なのではなくフラットな社風

部署間・キャリアの差別がない

「監督は偉く技能部隊は下」や
新卒・中途の待遇差がない

透明性を重視

「一、明朗一、誠意一、信頼」の社是を持ち
社員に対して誠実な対応を重視

現場に役員が出る会社

会社のためにやらされているのではなく
一緒になって仕事を進める会社

BENEFITS 現場監督の場合

充実した手当と福利厚生

賞与実績
賞与一回+決算賞与
平均 **8.5** ヶ月
※令和7年度賞与実績

年間休日
119 日

通勤手当	上限 1,800円 / 日
時間外手当	時間外労働がゼロでも 12.96時間分 / 月の固定時間外手当支給 ※これを超えた分は、別途支給
働き方改革手当	1万~3万円 / 月 ※現場の全社員の残業時間が規定時間内の場合に支給
資格手当	1万~3万円 / 月
役職手当	5千~23万円 / 月

緊急対応手当	3千~5万円 / 回
巡視手当	5千~2万円 / 回
出張・遠方現場手当	3千円 / 日
社内イベント皆勤手当	1万~4万円
年間のベストフォーマー表彰制度	一等 10万円 / 二等 5万円
公共工事の成績に応じた報酬制度	3万~30万円

注目

奨学金返済制度

社員の経済的負担を軽減させるため
奨学金を返済中の社員へ支給

最大360万円
最大月2万円×最長15年

資格取得サポート

全額補助

受験料・交通費

予備校・学費

一級建築士に限り
合格時に1年分補助

資格例

①級・2級 土木施工管理技士

①級・2級 建築施工管理技士

①級・2級 建築士

①級・2級 舗装施工管理技士

- 社会保険
- 再雇用制度
- 退職金制度
- 充実した健康診断
- 制服・安全保護具貸与
- 社員旅行
- 慰労会(年2回)
- BBQ大会
- 社内イベント
- 社内表彰制度

年末年始プレゼント
ご家族へ日頃の感謝を込め年末年始
を楽しむための豪華食品をプレゼント

TRAININGS

毎月開催の若手研修と不定期の技術研修

若手社員向けに、月に一回若手研修を行っています。
上司や協力会社さんと円滑な関係を築くためのアドバイスや、個別相談などを通じて、現場でのテクニックなどよりも精神面でのサポートを重視し、普段は言えないことでも気軽に相談できるような場となっています。
また、現場監督としての必須スキルを磨くための技術研修を行っています。



OFFICE RENOVATION

支店社屋リフォーム

より快適な環境で働いて欲しいという思いから、
現場監督と事務員が主に利用する鈴鹿支店の社屋を
令和8年度完成目処でリフォームしています。



先輩インタビュー 建築現場監督

建築施工管理技士

鈴木 啓太(新卒入社4年目/25歳)

—入社に至った経緯を教えてください

岐阜の大学に通っていましたが、地元の鈴鹿で就職したいという思いがありました。

工場の三交代の夜勤や転動のない職に就きたいと思っていたので、建設業の他、倉庫管理や営業を検討していました。ずっと陸上部に所属していて、大学もスポーツ経営学科でしたので、体力には自信があります。緩い感じりがちとした縦社会の方が居心地が良いのもあって、建設業に飛び込んでみようかなと思いました。

—普段の業務内容を教えてください

安全管理と施工の品質管理、加えて日常業務が3つの軸になり、僕自身が直接作業をすることはあまりなく、基本的に現場における確認が中心となります。

安全管理は、職人さんたちの資格証明を集めたり、重機とかを使う前に確認したり、現場の危険箇所の把握をして安全を確保します。品質管理は、作業をどう進めるかを事前に職人さんと決め、計画書を作って設計監理者に提出したり、計画通りに作業を進めるための書類を作成します。日常業務としては、安全管理や品質管理で計画したものが現場で実行できているかを把握したり、計測したりします。

一つの現場の施工期間はだいたい半年～1年くらい。毎日同じ現場へ出勤し、書類作業も現場事務所で済みます。まとまった現場がない時は支店で過ごします。ちょっとした解体やリフォームなどの細かい現場へ行くことはありますが、年に1～2ヶ月は支店で、次の現場の準備を行います。

—現場監督としてどうやって慣れていきましたか?

先輩に揉まれましたね(笑) というのも、基本的には上の人達が教えてくれます。一人で現場へ行くということはないので、先輩の誰かの助手として行くので、分かりやすく言えば親分に分らないことを聞き続ける感じです。一人前の監督になるのは正直簡単じゃないと思います。「納まり」とか「養生」とか専門用語が多かったり、経験してないとこれは分からないな、と思うことがたくさんあります。なので、偉そうに言っていますが、今でも質問星人になって頑張っています(笑)



先輩の助手として現場へ行くので安心
質問し続けている内に慣れました

必要なのは"可愛い"や"厳しい"を演じる演技力 自分が指示したことがうまく通ったら嬉しい

—この仕事のどこにやりがいを感じますか?

現場で鉄骨が建つと「今から始まるんだな」とワクワクします。人と何度も打ち合わせをして、設計図に書かれていた建物ができること「頑張って良かったな」と思います。しんどい中でも「楽しい」を見つけて頑張っているのかなというのが今の僕の気持ちです。

—ベテランの職人さんを動かす苦労はありませんか?

職人さんによって大人だなと思ったり、逆に精神年齢変わらないなと思ったり、あまり年齢は関係ないですが、自分が指示したことがうまく通ったら嬉しいですね。必要なのは「演技力」だと思います。「可愛い」を演じたり、「厳しい」を演じたり、職人さんにどのスタンスで伝えたらうまく聞いてくれるかなと試行錯誤しています。僕は演じるのが一番手っ取り早いんじゃないかということに辿り着きました。

—上司や役員との関係はいかがですか?

入社間もない時、高所作業で危険な行動をした時は厳しく叱られたこともありますが、今考えると優しくさ来る厳しさかなと思えます。仕事でない時は皆優しいです。また、杉本組の社風として、皆「自分がやってやる」というエネルギーを感じます。

役員の方は、会議の他、月に一回安全パトロールがあるのですが、気楽な距離感で何かと気にかけてくれます。直属の先輩や部長からはたまにご飯に誘ってもらったりします。

社長のことは素直に尊敬できます。頭もいいし、人前で喋って話が盛り上がっていくのは凄いなと思います。あとやっぱり現場監督は皆クセが強いです。あの人達をトップとしてまとめていくわけじゃないですか。社長はすごい社員のことを考えてくれているんだらうなということはいまひしひしと感じます。若手向けの社長研修があるのですが、これは割といい時間だなと思います。まず「最近どう?」という切り出しから「困ってたら言えよ」という感じで気持ちの方をフォローして頂きます。これが月に一回あるので沈んでいる時には「社長もこう言ってたしな」と慰められたりします。



自分が関与した建物が建つと「ここ、うちの会社が建てた」と言える

—地場ゼネコンの良さは何ですか?

転勤がなかったり地元でずっといれることがいいですね。あとは、厳しいことは厳しいですが、そんなにガチガチではないというところですね。全部が全部ルールがあるというわけではないのが大手に比べるといいところなんじゃないかなと思います。他には、「嫌だな」と思うことをすぐに相談できる距離感なことですかね。地元の友人が知っている場所に関与した建物が建つと「ここ、うちの会社が建てた」と言えるのはいい気分ですね。これがゆくゆくは「僕が建てた(自分を中心となって施工管理した)」と言えるようになるのが楽しみです。

—プライベートは何をされていますか?

高校からスケボーをやっていて、大阪に行ったり、鈴鹿にも最近規模の施設ができたのでよく行きます。23歳で結婚したのですが、子どもが今妻のお腹の中にいます。よく妻と買い物に出かけたりして過ごしています。家も買おうかなと検討しています。

—将来の夢はありますか?

自分の現場を持ちたいですね。僕が所長になったら、一緒に頑張れる若手の子をしっかり育てたいと思います。

—待遇面や福利厚生についてはいかがですか?

不満はないです。年々できることが増えるにつれ、顔面も上がっているという実感があります。賞与もとてもいいのですが、会社の業績が入社してからずっと良いので、逆に低い時を知らないからどうなるのかなとは思っています。福利厚生だと資格手当が出たり、年末年始にプレゼントが貰えたり、家族の誕生日にお祝い金が貰えます。

社内イベントは凄く楽しみにしています。社員旅行やBBQ大会があり、普段別の現場で会うことのない皆と仲良くなれるかなと。あと社屋をリフォームするらしいんですが、テンション上がりますね。まだかなあと思っています(笑)

—新しく入ってくる新入社員に向けて一言

皆優しいですし、皆頼れて「最後まで」教えてくれる杉本組は他とは違うと思います。僕自身がスポーツ系出身というもありますが、元気がいいの子に入ってきて欲しいと思います。

(2025年秋時点での取材)

JOB DESCRIPTION

こんな仕事をしています

1 協会会社さんへの指示

図面などの現場条件を考慮して、効率的かつ安全に品質を担保し、工事を進めるための相談や指示をします。

3 現場のチェック

日々の安全、工程ごとに品質、仕上げの出来栄などを現場で確認します。

2 お客様・設計士との打ち合わせ

お客様の要望や図面通りに行かない箇所を設計士と調整したり、仕上げなどの最終的な仕様をお客様と打ち合わせします。

4 書類の作成

日々の安全書類・施工図・施工計画書・各種申請書類・納品書類などの作成をします。

ROAD MAP

大卒社員のケース

成長のロードマップ

10年目

自分の現場を持つ

現場所長として現場を取り仕切るリーダーを任せられます。最大10～20人の職人部隊を指揮しつつ、後輩への指導も行います。



現場所長

20年目

大規模な現場を任せられる

会社の中堅として大きな現場を任せられ、最大50～100人の部隊を動かし、会社の業績の柱としてなくてはならない存在になります。



1年目

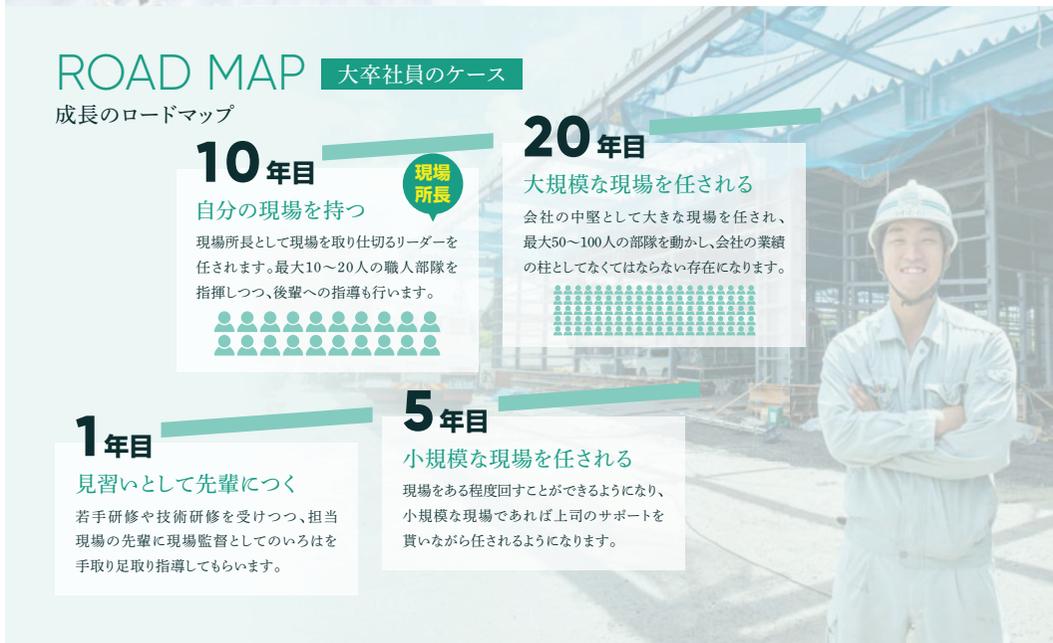
見習いとして先輩につく

若手研修や技術研修を受けつつ、担当現場の先輩に現場監督としてのいろはを手取り足取り指導してもらいます。

5年目

小規模な現場を任せられる

現場をある程度回すことができるようになり、小規模な現場であれば上司のサポートを貰いながら任せられるようになります。



先輩インタビュー 土木現場監督

土木施工管理技士

渡邊 智也(中途入社2年目/32歳)

——入社に至った経緯を教えてください

先輩の紹介で前職の飲食店で働くことになり、東海地方に引っ越ししてきました。ポジションは店長です。その時做人的管理だったのですが、あまりにも過酷な労働で、一日中ずっと働いていました。転職しようかと考え、大手自動車メーカーの期間工から社員になれるという話を聞いて応募したのですが、年齢制限で社員にはなれないことが分かり、1年働きました。先が見えないという状態になったのが、30歳のことでした。最初は強く何がしたいという思いもなく、ネットで調べて「飲食店する前は土木をしていたな」と思い返し、「あれやってない」「これやってない」とやり残したことがあるなという思いが蘇り、もう一回チャレンジしてみようと考えました。地元じゃないので会社の良いのか分からない中、杉本組の応募ページがとて見やすく、すんなり何をしているのかが入ってきました。他の作業員や建築の監督の子たちが皆笑顔で「ここはいいな」と。応募、面接、採用という流れになりました。

——前職と比べて待遇面がどうよくなりましたか？

金銭面は勿論良くなりましたし、やっぱり働く時間が固定されているのがとてもいいです。飲食時代では一日16時間、20時間と自分の時間が取れず、週末も何かあれば店にいかなければいけないという大変さがありました。まだ今は守られている立場ですが、土木の監督として今働いている限りでは、勤務時間が8時間に限られ、充実した時間が送れていると思っています。自分がやればやった分だけ認められるし、褒めてくれるので、やり甲斐があると大に思います。

——普段の業務内容を教えてください

基本的には私たち監督は重機を触ることはありません。具体的には書類の作成・整理・提出が中心となります。現場の中だと、安全や出来栄を管理していく仕事になります。最初に計画された通りにできているか、できていないからそれを改善するための提案を行ったりし、職人の皆さまに指示を出して、正しく道路や川ができるように安全や品質、工程管理などを行います。飲食店だと目の前で食べて頂いて「美味しい」「ご馳走様」と言われるのが羨ましいな仕事でした。土木業界の場合、道路であっても川でも橋でも、地元のため地域のために貢献する陰ながら支える仕事です。お客様は間接的にはいるのですが、直接的に褒められる・認められるということはないので、何十年も残っていくインフラをあの時にやっていて良かったなと思うことがやり甲斐です。実際まだ私も2年目なのでそういう経験したわけではないのですが、先輩と何十年後も「杉本組と一緒にこれを作ったね」と言えるようにと、誇りを感じながら作業をしています。



過酷な前職からの転職で手にした
納得の労働環境と報酬

働く時間が固定されていて引っ越しがない 会社の中に相談できる人がいる安心感

——職場ゼネコンの良さは何ですか？

引っ越しがないのが一番大きいです。今のところ出張もありません。近場に現場があるので家に帰るのが地場企業のいいところだと思います。

——この仕事のどこにやり甲斐を感じますか？

今はですけど、自分が作った書類を上司に提出した時に「しっかりできてるな」と褒められた時は、凄いやり甲斐を感じますね。また、前回の現場で一般河川の工事が完了した時は「やってやったぜ」と思いました。入社1年目で分からない時期に、あれしろ、これしろと毎日厳しく指導されながら一生懸命仕事をして、本来は1年かけてやる仕事を3~4ヶ月の短い工期で終わらせた時に「できたんだ」と感動しました。最後の方は先輩にも褒めて頂き、この仕事をやれて良かったと思えました。

——上司や役員との関係はいかがですか？

社長との距離感は近いかも知れませんが、常務もいつも声を掛けてくださって、温かみを感じます。離れていても近くにいる、皆誰かしら気が付いて「渡邊、大丈夫か」とか「最近元気にしてるの?」と連絡をくれる会社です。

直属の上司とは、距離が近い分当然良くも悪くも色々あるのですが、部長であったり社長であったり、自分がマイナス思考になっている時に会社の中に相談できる人がいるというのは大きいです。新人研修で社長が話してくれる言葉であったり、その際に相談できることもあります。話を聞いてそれを改善しようとしてくれる会社の姿を見ると、「もうちょっと頑張ってみようかな」「ここで音を上げちゃいけないな」と考えさせられることが多々あります。

免許なしで入社してきて「こんなに貰えるの?」と驚きました

——待遇面や福利厚生についてはいかがですか？

満足しています。家族がいるのですが、給与に関しては家族分の考慮がされていて、家族の誕生日にお祝いを頂いたり、物価高騰手当もありました。額面についても中途採用で免許なしで入ってきた割には貰っているのかなと思います。最近賞与を頂いたのですが、桁違いというか、「こんなに貰えるの?」というくらい貰いました。滅茶苦茶嬉しいですね。もっと働こうと(笑)現金な奴めという感じですが、自分がそれだけ頑張ってきたという評価を頂けたんだと思うと、もっと頑張ろうかと思えます。

私たちの土木の監督に必要な免許というのが、一級もしくは二級土木施工管理技士が必要なんです。つい先日試験を受けて合格発表待ちの状況なのですが、費用は全額サポートされます。また、試験の講習関係に行ったら給与が付き。普通は付かないかなと思うのですが、そこはしっかりとサポートして頂けるので安心できます。

社内に、皆で釣り堀に行こうという釣りがあって、参加させて頂きました。土木部だけじゃなく建築部も混合で、一人が発信して集うことになったのですが、参加したことで皆と深く仲が深まり、とてもいい関係が築けました。終わった後に飲み会があって、これも楽しかったですね。また、公共工事の現場が終わった後に成績に応じた報酬制度があります。前回工事成績が良かったので運良く頂いたのですが、「え?そんなに貰えるの?」ってくらい頂けました。

——プライベートは何をされていますか？

プライベートは家族がメインです。妻と子どもが二人いて、下が0歳8ヶ月、上が3歳です。今はしっかり土日休みを頂けているので、家族孝行ができるのが嬉しいです。車はVOLVOに乗っていますが、洗車して眺めるのが趣味です(笑)他に子どもの遊び道具をDIYしたりします。

——将来の夢はありますか？

「渡邊」と聞いて、あの人だと言われるようになりたいですね。あの人に仕事を任せておけば間違いないよねという存在になりたいです。

——新しく入って来る新入社員に向けて一言

新卒の方へ。学生生活と社会に出てからの生活はまったくの別物です。数え切れないくらい不安があると思いますが、働いてみなきゃ分からないことがあります。やってみればどこにやり甲斐があるのか分かります。まずはトライしてみてください。

中途の方へ。私自身がそうでしたが、新しい環境に馴染めるかどうか、途中で入ってきて大丈夫かなどの不安があると思います。杉本組は中途でも受け入れてくれる会社です。プロパーと中途で差別されませんし、先輩方のレベルが高いので確かな技術が身につきます。

(2025年秋時点での取材)

JOB DESCRIPTION

こんな仕事をしています

1 協力会社さんへの指示

図面などの現場条件を考慮して、効率的かつ安全に品質を担保し、工事を進めるための相談や指示します。

2 発注者・コンサルとの打ち合わせ

図面通りに行かない箇所、地元の要望、現場条件による問題を発注者・コンサルと相談しながら解決していきます。

3 現場のチェック・測量

丁張を設置するための測量を行ったり、日々の安全、工程ごとに品質、仕上げる出来栄などの現場での確認します。

4 書類の作成

日々の安全書類・施工計画書・各種申請書類・納品書類などの作成をします。

FOR MID-CAREER

中途採用の方へ

「建設業を諦めて他業種へ転職する前に最後の最後に杉本組を試して欲しい」

「杉本組で無理だったら他の会社では無理」と言える自信があります。同業他社に「杉本組出身なら間違いない」と言わしめる約束されたスキルアップと頑張った分に見合う報酬を保証します。また、現場が近く出張がほとんどないという職場ゼネコンの良さを感じて貰えます。

毎日仕事が変わることの面白さを感じて欲しい

建設業には「毎日仕事が変わる面白さ」があります。図面が一緒でも作る人によって完成作品が違う創造性や圧倒的な達成感がある仕事です。

杉本組で中途入社するメリット

一人前になったら自由度が高い
「やった損」「頑張った損」のないよう、結果よりもプロセスを重視した評価

賞与が高い
現場監督の場合、合計平均8.5ヶ月(※令和7年度賞与実績)

TSR推奨優良企業
上位8%にしか認められないTSR推奨優良企業で、その中でも上位2%

安心の無借金経営
安心の無借金経営の財務基盤

各種認定を保有
みえの働き方改革推進企業認定/健康経営優良法人2025(中小規模法人部門)認定

創業80年なのに代表が40代
社員構成において20代~40代が55.3%の若い会社(※2025年10月現在)

